

**出土した遺物** 遺構からは、各時代にわたる、さまざまな遺物が出土しました。この地において、古くは縄文時代から現代にいたるまでの人々の生活が営まれたことを示しています。



さまざまな石の道具(縄文時代～弥生時代)



大溝から出土した古墳時代後期の須恵器



はじきたかつき 土師器高杯 (竪穴建物16出土)



はじきつき 土師器杯 (0-1区S4出土)



はじきかめ 土師器甕 (竪穴建物16出土)



かいゆうとうきわん 灰釉陶器椀 (0-1区大溝出土)



りよくとうきわん 緑釉陶器椀 (0-1区大溝出土)

竪穴建物から出土した古墳時代前期の土器

大溝の最上層と周辺から出土した平安時代の土器

**まとめ**

- 以上が現在までの調査の状況です。要点を以下に記して、まとめとします。
- ①縄文時代から弥生時代頃の石器、弥生土器が出土しました。いずれも新しい時代の遺構の埋土に混じって出土したもので、生活の実態は不明ですが、調査地付近に縄文人・弥生人が活動していたことがわかりました。
  - ②古墳時代前期頃には、調査地のあちこちに竪穴建物2～3棟からなるグループが出現し、ムラが形成されていたことがわかりました
  - ③古墳時代後期には、南北方向の人工的な大溝が掘削されます。その後、埋没と再掘削を繰り返しながら、平安時代頃までこの大溝は用水路としての機能を果たしていたようです。
  - ④室町時代になると、現在の地割に沿った溝が出現します。現在の地割は古代にさかのぼる土地区画(条里地割)に沿っており、この段階で調査地付近にも条里地割がおよんだことがわかりました。
- 今回の調査では、各時代に先人達が営んだ生活の一端を垣間見ることができました。調査は今後も続きます。さらにこの地域の歴史を明らかにしていきますので、引き続きご協力をお願いします。

**辻遺跡発掘調査地元説明会資料**  
 令和3年(2021年)11月13日(土) / 公益財団法人滋賀県文化財保護協会



**遺跡と調査の概要**

**遺跡の概要** 辻遺跡は、栗東市出庭・辻を中心に広がる古墳時代の大集落跡として知られています。これまでの調査では、玉作りなどの手工業工房跡をはじめとして、多数の遺構がみつかっています。韓式系土器とよばれる朝鮮半島系の土器も出土しており、朝鮮半島からの渡来人と関係が深い遺跡です。

**調査の概要** 公益財団法人滋賀県文化財保護協会では、滋賀県文化スポーツ部文化財保護課からの依頼を受け、国土交通省近畿地方整備局滋賀国道事務所が工事を計画している一般国道8号野洲栗東バイパス建設に伴う発掘調査を平成29年度から実施しており、現在も調査継続中です。

昨年度までの調査では、古墳時代前期から中期(約1,700年～1,600年前)の竪穴建物が25棟以上みつかりました。なかでも5世紀前半頃の竪穴建物群からは、鍛冶関係の炉跡を検出し、それに伴って鉄滓等の鍛冶関係遺物が出土しています。また、ガラス小玉鑄型や韓式系土器といった渡来系技術によって作られた様々な遺物も出土しました。このことから、5世紀前半頃には、今回の調査地周辺に、渡来人の技術を用いた鍛冶やガラス小玉の製作などを行う工房が存在したことがわかりました。

今年度は、遺跡の範囲の南側～中央部分の調査を4月より実施しています。現在も調査は継続しておりますが、現時点での調査成果についてお知らせいたします。

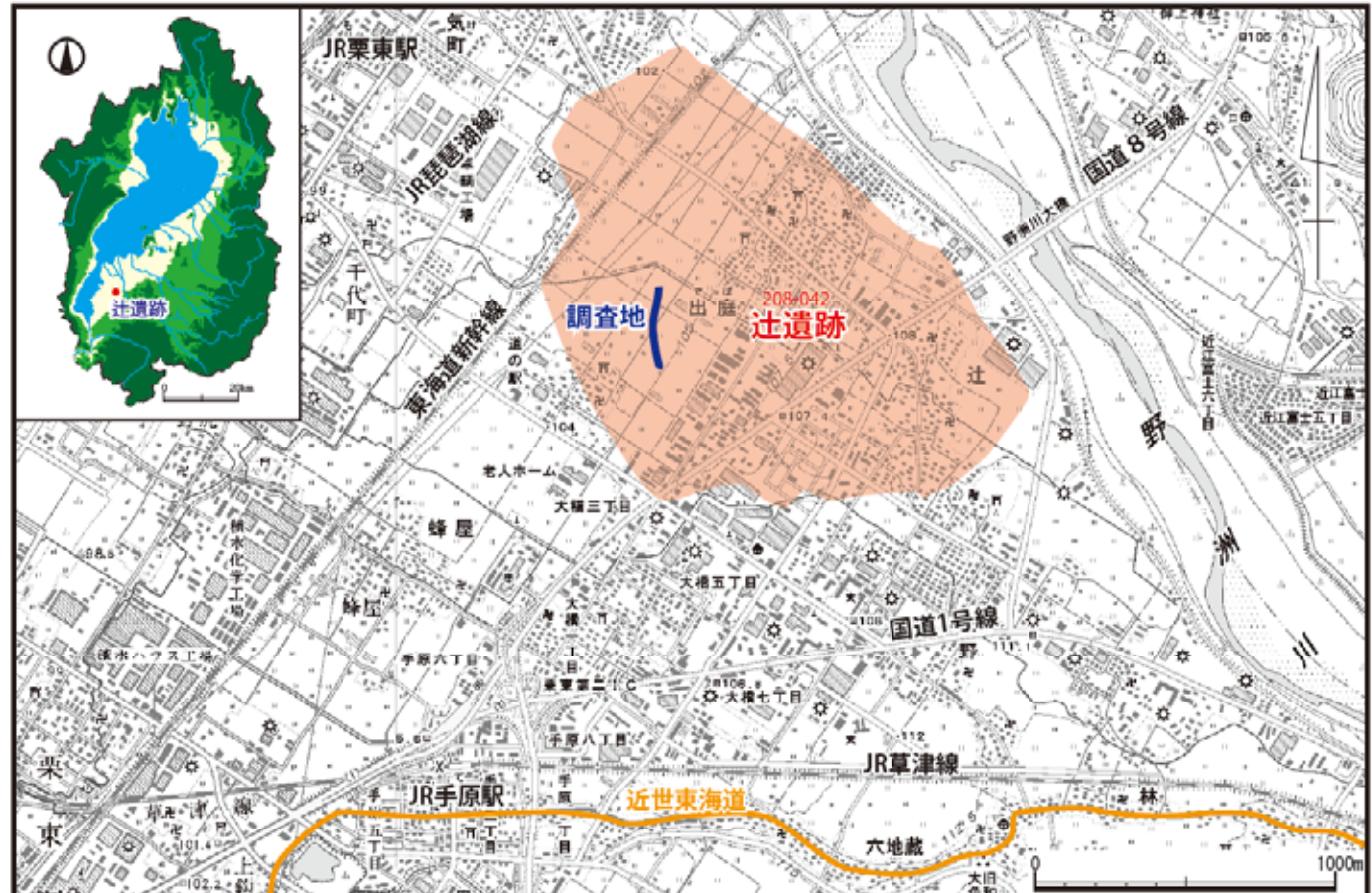


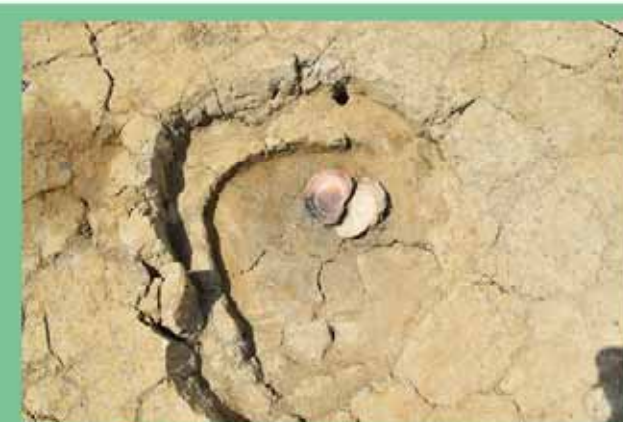
図1 辻遺跡の範囲と今回の調査地点の位置(青塗)

### 発掘調査の状況

今年度の調査では、古墳時代前期頃の<sup>たてあなたの</sup>竪穴建物からなるムラを確認しました。さらに、昨年度に見つけていた大規模溝(大溝)がさらに北にむかって延びることもわかりました。この溝は人工的に掘削され、少なくとも2回掘りなおしながら、長年にわたり、用水路として利用されていたと考えています。掘削時期は古墳時代後期頃と思われ、平安時代には埋没したようです。その後、室町時代頃までは、現在の地割に沿った溝(条里溝)が掘削されており、この付近一帯に条里地割が施工されたことがわかりました。



O-1区 土師器杯等が多数出土した土坑(S3)



O-1区 土師器杯等が出土した土坑(S4)



O-1区 大溝

図2 主要遺構配置図



2020年度発掘調査地区	古墳時代前期 (3~4世紀)	平安時代 (9~10世紀)	室町時代 (14~15世紀)	所属時期未確定
2021年度発掘調査地区	古墳時代後期 (6世紀)	平安時代末~鎌倉時代 (12世紀)	近現代 (19~20世紀)	

\* 主要遺構のみを抽出・提示。  
S=1/1,250



P-11区 竪穴建物11



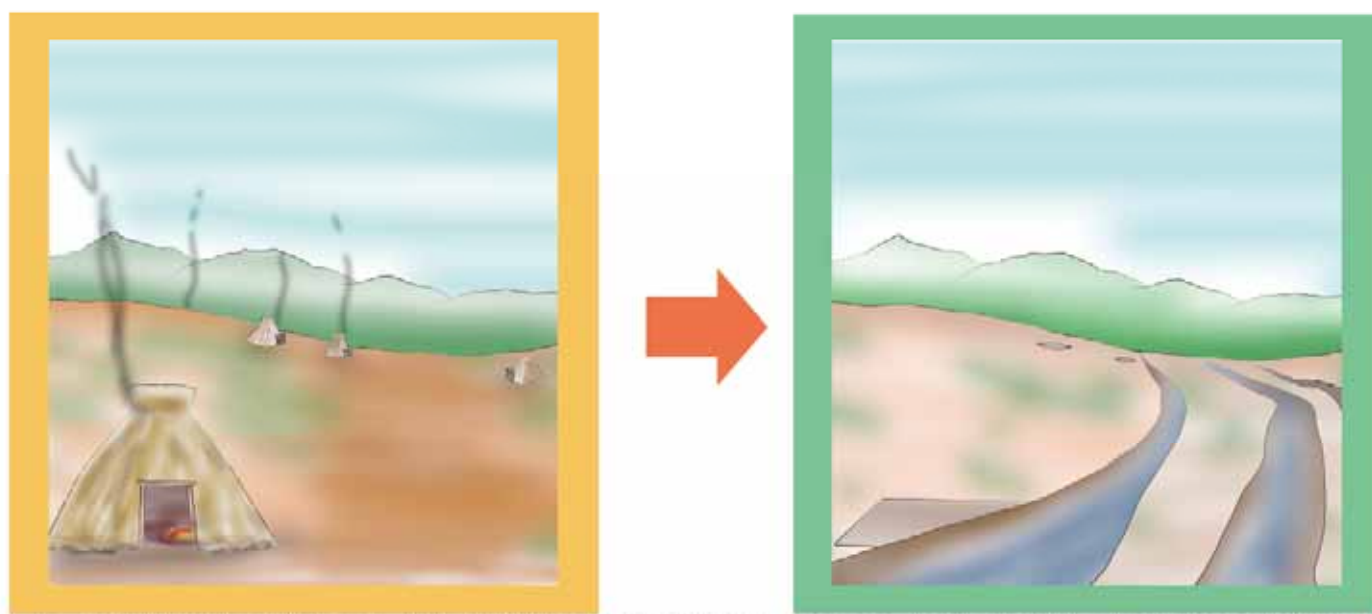
N-2区 竪穴建物16



P-11区 竪穴建物11床面の遺物出土状況



N-2区 竪穴建物16 土器出土状況



\* 重田勉作成

図3 発掘調査から推定される古墳時代前期頃の辻遺跡のムラのような様子(左)と平安時代頃の大溝の様子(右)